

平成25年度第3回ふれあい座談会

主 催	ふじみ野市私立幼稚園PTA連合会
テーマ	市長との意見交換
日 時	平成26年2月5日（水）午前10時～正午
場 所	市民交流プラザ
参加者	34人
市	市長、秘書広報課副課長、広報広聴係長、係員
市 長	<p>皆さん、こんにちは。本日はふじみ野市私立幼稚園PTA連合会の皆さんとのふれあい座談会ということで、お招きいただきありがとうございます。</p> <p>私は就任以来、タウンミーティングあるいはふれあい座談会という形で市民の皆さまと直接お話をする場を設けていきたいという思いで、市民目線を大切にして市政運営を進めてきました。行政は前例踏襲主義と申しましょうか、今までやって来たことを当たり前のように続けてきました。しかし、もうそういう方法は立ち行かなくなってきました。そのような中で限られた税収を少しでも有効に、そしてふじみ野市発展のために使っていければと思っています。ふじみ野市はご存知のように合併をして誕生しました。これは究極の行財政改革の手段で、二つの自治体を一つにして、無駄な経費をなくしていこうということです。しかし、実際は二つが一つになっただけで、行政の中身は変わっていなかったというのが実態でした。ふじみ野市の経常収支比率をみますと、平成19年度には97.1%ということで県内でも非常に悪い数字でしたし、合併した平成17年当時は県内で一番悪い状況でした。しかし、平成24年度には89.2%ということで、県の平均値よりも改善することができました。90%というのは赤信号といわれておりまして、かろうじて黄色信号のエリアに入ったという状況です。現在、平成26年度の予算編成に入っておりまして、およそ399億円という予算規模です。しかし税収は150億円程度しかありません。ほかには地方交付税や借入金などでしのいでいくと</p>

いう状況です。ちなみにふじみ野市の平成25年度の当初予算ベースでは、349億円の一般会計の中で43億円が教育予算に充てられています。市の予算の中の約12%を占めており、近隣自治体より若干ですが、教育費の比率が高くなっております。とくに学校関係ですと、小中学校の耐震補強はすべて完了しております。現在は大規模改造工事に着手しております、建築年次や老朽化によって、すべての学校を順次整備してまいります。また保護者の方からトイレを何とかしてもらいたいという声も聞きますので、老朽化や臭気などを考慮してトイレ改修も大規模改造工事に並行してすすめています。さらにICT教育の充実ということで、電子黒板やデジタル教科書などおそらく西部教育事務所管内ではトップレベルの水準にあると思います。保育所の待機児童対策ですが、平成24年度に待機児童0を達成しました。とはいえ、待機児童の問題は解消したかのようにみえて実は潜在的に入所希望の家庭が多いというのが実情です。実際、翌年の平成25年度には70数名の待機児童が出てしまいました。子ども医療費も子育て世代の負担を減らそうと、中学3年生までの医療費の無料化を実現しました。子育て優先の政策ということで取り組んでおりまして、平成26年度中に児童発達支援センターの設置に向けた準備も進めております。また、昨年12月には市の人口が11万人を突破しました。2市1町の中でも群を抜いた伸び率です。また人口が増えたのみならず、増えた人口の75%が子育て世代、いわゆる現役世代といわれる若い方たちです。

現在、地方も国も財政状況は厳しいです。皆さんもテレビのニュースで見ると思いますが、国家予算が90数兆円という中で、社会保障費がなんと30兆円になってしまいました。社会保障費というのは介護とか医療とか福祉にかかる部分ですけど、それが年間1兆円ずつ増えているといえます。とすると、今30兆円ですが、国の予算が100兆円だったとしてもあと20年もすると国の予算の半分が社会保障で消えることにな

	<p>るわけです。少子高齢化という言葉がよく使われますが、子どもの生まれる数が少ないから、結果的に人口が少なくなるわけですが、高齢者を支えることはどんどん大変になります。ですから、国の社会保障制度を見直す、あるいは少子化に歯止めをかけるようにしなくては、この国が立ち行かなくなってしまうと思います。</p> <p>そこで、子どもたちの未来に希望が持ってもらいたいということで、ふじみ野市では国の制度改正を待つことなく、どんどん若い人たちにこのまちに移り住んでいただくための子ども優先の施策を進めています。個々の政策には皆さんも思うところがあると思いますが、今日は疑問に思われていること、あるいはもっとこうなったほうがいいのではないかとということ、率直にお伝えいただければ、現場に反映させていくことも可能ではないかと思っておりますので、限られた時間ですが、よろしく申し上げます。</p>
事務局	参加職員の紹介（省略）
司 会	<p>皆さん、こんにちは。先ほど市長からお話がありましたように、本日は皆さんが思っていることや疑問に感じていること、またこんなふうやってほしいという提案などを出していただきたいと思います。では、マイクを回していきますので、よろしく申し上げます。</p>
参加者	<p>ふじみ野市で保育に回している予算と幼稚園に回している予算、どれくらいの比率かわかったら教えてください。</p>
市 長	<p>数字は持ってきていないのですが、当然保育に回している予算のほうが多いと思います。幼稚園でも延長保育を希望する方がいて利用方法などでは同一視されることもありますが、保育と幼稚園は根本的に内容が違います。幼稚園は学校法人、つま</p>

	<p>り教育の視点で運営されています。保育の場合は、当然ですが保育に欠ける家庭に対する措置といたしますか、厚生労働省の所管で進められています。ですので、国の施策の違いでお金の使い方は違ってきているというのが実情です。ただ、幼稚園も学校法人や社会福祉法人で運営されていると固定資産税がかかっていません。税金が免除されているということは、市がその分を負担していることと同じです。そういうことも含め、一概に比較はできませんが、保育の予算のほうが多いということにはなると思います。</p> <p>参加者</p> <p>私が子どもを幼稚園に入れようと決めたのは、子どもが帰ってきたときに親がお帰りと言ってあげたい、子どもが一人でいる時間をできるだけ減らしてあげたい、という思いもありました。金銭的に余裕があって幼稚園に預けている家庭もあると思いますが、そういう家庭ばかりではありません。一方保育所に子どもを預けている人の中にも、本当はお帰りと言ってあげたいのに、夫の収入が低いからパートをしなければならないという人がいます。夫の扶養から外れる収入は年130万円ですが、それを超えると税金がかかってきます。税金を支払うと130万を割ってしまって、働かないほうがよかったなどという場合も生じます。それを避けるために多くの日数を働いて、結局子どもは保育所に預けざるを得ない、このような状況を考えると、市が保育予算を手厚くするという姿勢は間違っているのではないかと思います。具体的には、保育所に通わなければいけない低所得の保護者に対して、市の独自施策として幼稚園に行けるように補助するという方法もあると思います。さらに幼稚園の就園奨励費をもっと充実していただきたいと思います。</p> <p>市長</p> <p>子どもが帰ってきたときに親がお帰りと言ってあげたいという気持ちは誰しもが持っていると思いますが、価値観の違いということもあり、保育所を選ぶか幼稚園を選ぶかという選択</p>
--	---

	<p>は各家庭の自由裁量だと思っています。ご提案のあった市の独自策として手当をして、誰しものが自由に選べるようにしたほうがいいのではないかと、まさにその考えは正しいと思います。ただ、財政面という市の実情からですと、市の予算の中で市税収入は半分以下しかありません。そういう中ではやはり国策に頼らざるを得ません。</p> <p>ふじみ野市は子ども医療費を無料化しました。子ども医療費を無料化すると、医療保険の国保連合会などからペナルティを受けます。ペナルティを受けますが、この施策はどの家庭、幼稚園や保育所などの区別がない市の独自策ともいえます。余談ですが、子ども医療費がグングン上がってきています。子どもが増えたからという理由だけではありません。理由は医療にかかる子供たちが増えたからです。例えば、小さなけがをした子どもがいます。薬局で薬をかうとお金がかかりますが、医者に行って治療してもらうのはタダです。残念ですが、そういう考え方の人もいるようです。本当は、子ども医療費の支出を抑えられれば、ほかの子育て支援策に予算を回せますから、無料化について厳しいご指摘を受けることもあります。</p> <p>さて、幼稚園を選ぶか保育所を選ぶかは自由ですが、余裕がある方とない方がいるというお話は、まさにそうだと思いますし、子どもが幼稚園に行っているその限られたわずかな時間でも働きたいという方が延長保育を求めるなど、幼稚園や保育所に対するニーズはいろいろあると思います。国も幼保一元化といいますか、子ども・子育て支援法という法律をつくりました。ふじみ野市も子ども・子育て支援会議を設置し、子育て支援の実現に向けて取り組んでいるところです。独自策につきましては私も子ども優先の施策を掲げていますので、何とか形にできればと思っていますが、現在の財政状況では厳しいといえます。</p> <p>参加者 今言われた医療費無料化のペナルティ分の財源は、国保へ市</p>
--	---

<p>市長</p>	<p>の一般会計からの繰出金で処理されていると思うのですが、私たち社会保険に加入している人が払った税金も国保に使われているということは不平等だと思います。それを減らして、その財源をもう少し保育や幼稚園に回していただきたいです。そのためには、ペナルティを受けないように医療費の窓口負担を償還払いにしたらいと思いますがいかがですか。</p> <p>ご指摘のように、私も国保に対する一般会計からの繰り入れは不平等だと思っていますが、それは今の制度そのものが間違っているからです。なぜなら、社会保険の方たちは会社にいる比較的若い年齢の間は社会保険ですが、退職した後に国保に加入します。つまり、病気になりやすい年齢の人たちを国保は受け入れることとなります。それでは、医療保険制度が持たないということで、制度間の負担を公平化するために退職者医療制度を設け、会社等の健康保険からの拠出金等で賄うようにしていますが、これも有期限です。抜本的に見直しをしなければ、国民皆保険制度自体が成り立たないと思います。現在の社会保険については、医療保険も厚生年金もすべて不平等だと思っています。保険料を会社は経費として負担しています。そのことを考えたら、国家全体としたら不平等だと思います。マクロ的に見て本当の意味での不平等というのはいどこかということを考え、国家としての日本医療保険をつくって、全体の負担割合を見直さなければ今の不平等は解消できないと思います。今の現行制度においてはご指摘のとおりで、平成26年度も国民健康保険に対する医療給付は100億円を超えています。その中で一般会計からの法定外の繰入金も10億円に届こうとしています。もう制度自体が持たないということです。ましてや、今は組合で負担してくれていますが、社会保険の方々の定年に達して退職した人の医療も持たなければなりません。おそらく国中が持たなくなると思います。</p> <p>おっしゃられていることはわかります。確かに不平等だと思</p>
-----------	--

	<p>いますが、国の制度を変えてもらわなければ無理かなと思います。なお、現状では平成29年度を目標に、国民健康保険の保険者が市町村から県へと変更する制度改正を進めています。</p>
<p>参加者</p>	<p>子ども医療費を償還払いにすると、ペナルティが減ると思うのですが。</p>
<p>市長</p>	<p>国保に負担を仰いでいるわけではなく、市が独自に自己負担分を負担していることに対するペナルティですから、一緒ではないかと思っています。</p>
<p>参加者</p>	<p>東原小学校の放課後児童クラブに在籍している子どもがいるのですが、来年度は今幼稚園に通っている子どもも入所予定です。先日、放課後児童クラブのニュースに、新1年生の入所希望者が31名と書かれていました。現在、定員が51名のところに57名が在籍しています。来年度申込人数の合計が81名になっています。その場合、入所できなかった子どもの受け入れ先とかはどうなっていますか。入れませんということで終わってしまうのでしょうか。</p> <p>それから、東原小学校の放課後児童クラブは2階建てです。指導員の方はよくみってくれるのですが、安全に子どもたちが過ごせるのかということが不安です。またトイレが男女一緒になっているので、親としてはとても気になります。大規模な改造ではなくても、少しずつ変えていってほしいと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>東原小学校は通っている子どもたちの人数が多いということもあり、放課後児童クラブへの入所希望も多いことはわかっております。30数名がオーバーということですよ。現在、東原小学校の放課後児童クラブは平成27年度ぐらいに建て替えをするために、平成26年度の予算で暫定的にプレハブを</p>

<p>参加者</p>	<p>設置するという計画があります。私は就任以来、2階建ての放課後児童クラブは問題だと思っています。2階建ては東原小学校の放課後児童クラブだけですよね。私は自分の公約にもあるように、老朽化したり定員増になったりしている放課後児童クラブの建て替えを毎年度実施してきました。上野台小学校がすぐそこにありますが、かつて第2小学校と第4小学校が合併してできた学校です。実は第2小学校のグラウンドにあった放課後児童クラブでしたので、現在は市役所の駐車場の中にあるという状況です。そこで、この放課後児童クラブを上野台小学校の中に移動しようという計画があります。</p> <p>新しい建物を作るには設計をして建て替えるということでは時間がかかります。そこで、東原小学校も入所できない子どもが出ないように、とりあえずプレハブでしのぎ、翌年に全体を含めて作り変えようという計画になっています。</p> <p>保育園のことで伺いたいのですが、我が家の子どもは待機児です。平成24年度に待機児0というお話がありましたが、25年度は待機児でした。市から通知が来ますが、入所できないという通知は、家庭にとっては、仕事をやめなさいという退職届と同じ意味なんです。幼稚園に通わせている家庭でも、働きたいというお母さんは多いと思います。でも、幼稚園には夏休みがあります。でも、私立の保育園でないと一時保育はしていませんといわれました。なぜ公立では実施しないのですか。私の家は大井総合支所の近くですが、一時利用をしているのはいちばん近くて風の里保育園とかすが保育園です。しかも申込制です。利用時間も制限されていますし、申し込んだから大丈夫というわけでもありません。そういう状況ではフルタイムで働くことは難しいです。</p> <p>それから、早生まれの子どもに対する保育園入所選定時の指数を加算するなどの配慮がほしいと思います。これからもふじみ野市では開発が進んで、人口が増えると思いますが、そうい</p>
------------	---

うことを考えていただきたいです。

ふじみ野市に引っ越してきて驚いたことは、児童館に預かり事業がないということです。板橋区には子育てサポートという事業があつて、放課後児童クラブに入所するほどではない、例えば親がちょっと出かけたとか、勉強とか講座に出かけたときに預かってくれます。ふじみ野市はファミリーサポートがあるくらいですよ。せつかく立派な児童館や児童センターがあるのだから、学校から直接ランドセルを背負ったまま行けて預かってくれるというような事業があると、利用者も増えると思います。児童センターは日曜日オープンしていますので、日曜日が仕事の家庭でも助かると思います。

都内から引っ越してきて思うのは、市の窓口の対応が冷たいということです。横浜や川崎は保育コンシェルジュという方がいます。いろいろな提案をしてくれます。でも、ふじみ野市では「早生まれですからねえ」みたいな言い方をされました。それから幼稚園に行ってるから恵まれている家庭だみたいなことは言ってほしくないです。

市長

ちょっとお話を切らせていただいてよろしいですか。お答えさせていただきますので。

先立つものがあれば、何でも実施していきたいです。

児童センターがあるとおっしゃっていましたが、そもそも旧上福岡市にはありましたが、旧大井町にはありませんでした。先ほど平等とか公平とかという話もありましたが、一つのまちですから、旧大井地域にも作りたいなというのが私の思いでした。確かに預かり事業はできていませんが、児童センターがなかったことを考えれば、まずは作るということが第一段階だと思っています。住宅の開発が進んでいますが、ことしの春から定員を拡大する保育園が1園ありますし、平成27年度からは病児病後児保育も含めた保育を実施できる保育園を最低でも2園開設しようと今準備を進めています。ただ、いくつ作って

<p>参加者</p>	<p>もご指摘のとおり、潜在的な待機児童は減りません。経済的な面に関係なく、働きたいというお母さんたちのニーズがあることも存じております。ただ、保育園を整備するために、保育園を利用していない人たちの税金をたくさんつぎ込んでいることも事実です。確かに東京都には先進的な事業もあるかと思えます。ただ、私は今の財政状況の中で無駄な経費をなくして、できる限りの事業執行をしているということです。</p> <p>個々の職員の対応に関しては、職員の意識改革を進めているのですが、残念ながら市役所という体質改善が図られていないという状況です。心無い発言をした職員がいたということはお詫び申し上げます。</p> <p>保育の入所選考の基準についても、この基準はおかしいのではというものについては、市として独自に改善してもいいのではないかと話しています。選考結果についてはプライバシーにかかわることがあるので公表しづらいのが実情です。ただ、今のお話はよくわかりますので、改善を図るなどしていきたいと思っています。</p> <p>国は官から民へということを言っていますが、保育園についても民間にシフトしようという動きがあります。私も公立保育所から認可保育所へとシフトしていくことを考えています。いろいろな意見があることはわかっていますが、経費が全然違いますので、認可であれば設置数を増やすことも可能になります。民間でも保育の質が守られるのであれば、子どもを預けたいのに預けられないという人たちのニーズに応えたいという気持ちのほうが大きいです。</p> <p>すぐに変えるのは無理ということはわかっていますが、少ないニーズもくみ上げていただけたらと思います。</p> <p>本日参加したかったけれども参加できなかった人から、一時保育について感じたことや改善してほしいことを聞いてきた</p>
------------	--

	<p>ので、話させていただきます。</p> <p>利用できる人数を増やしてほしい、いつも満員で使いたいときに使えない。一日の利用時間帯を増やしてほしい、一日の行事などでは使えない。利用条件を緩和してほしい、リフレッシュでも大丈夫といわれたのに、実際はだめだといわれました。それから、ファミリーサポートセンターは親しくない方に預けるということと、場所が個人宅ということに抵抗があるとのことでした。市の空きスペース等や、シルバー人材センターを使って、見える保育、まとまった保育を実施してもいいのではないかとのことでした。</p>
市 長	<p>今、シルバー人材センターで、とのことでしたが、見ず知らずの人に子どもを預けるという点では、ファミリーサポートセンターと変わりがないと思います。ファミリーサポートセンターも登録をしてきちんと講習を受けた人たちが実施しており、今は病児の子どもを預かる際は医療とも連携しています。</p> <p>一時保育のリフレッシュの件は、説明の仕方が悪かったのですかね。私は大丈夫だと思っていたのですが。</p>
参加者	<p>私もリフレッシュはだめといわれました。通院でもダメと言われたことがあります。</p>
市 長	<p>そうですか。では、それは確認してお伝えします。</p> <p>一時保育も実施には先立つものが必要です。制度を充実させるために、逆に我慢してもらっている人たちもいるということをご理解していただければと思います。</p> <p>ただ、皆さんからいろいろご提案いただいたことは、私は参考にするだけではありません。議会などで説明や提案をするときに力強い支えになります。</p>
参加者	<p>市内のいくつもの公園から遊具が撤去されています。これか</p>

<p>市長</p>	<p>ら遊具を設置する公園もあるようですが、撤去数よりも設置数のほうが圧倒的に少ないように思います。予算の関係もあるとは思いますが、滑り台とか雲梯とか子どもが遊べる遊具が減っていることをどう感じられていますか。</p> <p>個人的には増やしたいです。ただ、学校のエアコン設置のほうが先なのか、幼稚園に援助するほうが先なのか、保育所が先なのか、遊具が先なのか、極論です。しかし、限られた予算の中です。順番に整備していくしかない状況です。</p> <p>もし、お子さんがブランコに乗っていて、鎖が切れてけがをしたとします。当然、市は何をしているということになります。ですから、けがをする前に撤去しています。撤去するにもお金がかかります。新たに設置するには、以前から遊具が不足していた公園との調整も必要です。また、休みの日なのに子どもが遊んでいない公園も見かけます。そういうところの遊具が必要なのかという気がします。その場合は、地域の人たちと話し合いをして、地域が望むような設備、ベンチですとかを設置していこうという方向もあります。</p> <p>今おっしゃられたように、小さいお子さんのいるご家庭が近所の公園に遊具がほしいということはわかります。今年の予算にも遊具設置は盛り込みましたので、順次進めてまいりたいと思います。</p> <p>遊具は大半が老朽化しているので、どんどん撤去して新しいものに取り替えていきたいのですが、かつてプール事故を起こしたふじみ野市としては、他の自治体以上に公共施設の安全点検を強化しています。ですから、ちょっと見てどうしてこの遊具が撤去されてしまうのかと思われることもあると思いますが、全体を見て修繕が不可能で危険性のある遊具については、子どもたちのために撤去をしています。こういう状況ですので、子どもたちの体力作りのために雲梯を、というご意見もありましたが、設置できるまでの間は何か別の形でしていただ</p>
-----------	--

	<p>ればと思います。</p>
参加者	<p>ありがとうございます。子どもが遊んでいない公園に遊具を設置する必要があるのかというお話がありましたが、遊具がないから遊ばないのではないのでしょうか。</p>
市長	<p>そうですね。それもありますね。公園のあり方については、地域の人たちと話をして進めますので、ご安心ください。</p>
参加者	<p>私は上福岡駅の近くに住んでいるのですが、幼稚園に行くのに踏切を渡らなくてはならなくて大変です。</p> <p>今日参加できない人からの意見も聞いてきました。</p> <p>まずは、公園に鉄棒と滑り台がほしいということです。危険なものは撤去していることはわかりましたが、子どもがよくぶつかる逆上がりの壁に、親子で練習できる公園の鉄棒は欠かせないという声がありました。</p> <p>それから、ビバホームの近辺に児童館がほしいという意見やワイルドワンからギガマートがあったあたりの道路が細くて、幼稚園の送迎の際に怖いという意見がありました。</p>
市長	<p>道路が狭いというのは、ふじみ野市のみの話ではないと思いますが、やはり高度成長期に人口がどんどん増えて急激に都市化が進んだために、まちの整備が追い付かなかったということです。ですから、区画整理が行われた地域は道路も整然としているのですが、それ以外の地域では道路を広げるためには家をどかさないとならない状況です。費用負担を考えれば、物理的にかなり困難な話といえます。市内でも拡幅や整備をしてほしいという道路は何百カ所とあります。</p> <p>ですがご心配な状況も理解できますので、もし何らかの機会に待避所を設置できる用地が確保できるようであれば、待避所でも効果はあると思いますので、できるところから整備を進め</p>

	<p>ていきたいと思えます。</p> <p>児童センターも市内に1カ所でしたので、西地区にも作りたいということで大井総合支所の3階に設置しました。ですので、児童館を各地区に作っていくことは非常に難しいと思えます。今後公共施設の適正配置ですとか公共施設の在り方などで進んでいくと思えますが、子育て支援施設は私の中ではウエイトが重いので、設置をすすめられればという思いはあります。鉄棒と滑り台も頑張りたいと思えます。</p>
参加者	<p>上福岡駅のすぐそばの踏切の交通渋滞というのは、なかなか解消できていないと思えます。とくに信号と踏切の相性が悪くて、車ではなかなか渡れないのですが、あの状況は変わらないのでしょうか。</p>
市長	<p>おそらく変わらないですね。あそこは開かずの踏切対策ということで地下道の計画がありました。国の認可事業でしたが、用地買収も何カ所は済んでいたのですが、事業全体としては進んでいなくて、最終的には中止ということになりました。</p>
参加者	<p>時々、あの踏切にお年寄りが閉じ込められてしまい、周りの人が助けるという光景を何度か見たことがあります。それは待ち時間が長いせいだと思います。</p>
市長	<p>私もあそこを通りかかって、遮断機が下りてしまってまだお年寄りが渡り切れていなくて、車の運転手が遮断機を持ち上げて通してあげたという場面も見ています。東上線対策協議会でも東上線の幹部の人たちにこまごまとしたことの改善はお願いしています。ただ、踏切の交通渋滞の対策となりますと、信号機とは連動していないと思えますし、相互乗り入れなどで電車の本数も増えていますので、ピークの時間はかなり渋滞がひどくなると思えます。ただ、地下道を作ったり、陸橋を作った</p>

参加者	<p>りすることは物理的にあの場所では難しいと思いますが、人間の安全が一番ですから、引き続き東武鉄道には求めていきたいと思ひます。</p>
市 長	<p>歩道橋は無理ですか。</p> <p>できなくはないかもしれませんが、ただ、歩道橋の要望はよその自治体でもありますが、完成したら渡らない、ということが多いとも聞きます。</p> <p>有効な策とも思ひますが、費用対効果を考えなくてはいけませんので、すぐに実施できるかどうかということは難しいですね。</p>
参加者	<p>館内プールがあつたらいいなという声があるのですが、高齢者や小さい子どものいる家庭では安価なプールでリフレッシュしたいと思ひますので、将来的でもあつたらいいなと思ひています。</p> <p>それから、子どもが二人とか三人とかいると、同時に幼稚園に入園しないと保育料が安くないのですが、子どもが多い家庭への補助とか、保育料の減免とかはないでしょうか。</p>
市 長	<p>幼稚園ですか。</p>
参加者	<p>はい、双子だったり、引っ越しなどで転園したりする場合は同時に入園しますよね。そうすると減免されますが、普通はずれる家庭のほうが多いと思ひます。そうすると、保育料が重なるじゃないですか。そうなくても減免されないようなのですが。</p>
市 長	<p>安くないのですか。保育園でも、普通は一人入園してて二人目が新たに入園してくれば減額されますので、幼稚園で</p>

	<p>も同じだと思います。もしかしたら、勘違いされているところがあるのかもしれないですね。幼稚園にもう一度、確認されてみてはいかがでしょうか。</p>
司会者	<p>私立幼稚園ですので、私の幼稚園では同時入園でもずれて入園しても二人目のお子さんの保育料が減額されることはありません。ですので、幼稚園の方針で変わってくると思います。</p>
参加者	<p>就園奨励費のことですが、例えば上の子どもが小学2年生で下の子どもが年少だった場合はもらえます。でも、上の子どもが小学4年生で下の子どもが年少だった場合はもらえません。子どもはタイミングよくは生まれないので、授かった時期でもらえたりもらえなかったりというのは不公平だと思います。市の要綱で定められているそうなので、変えてもらいたいと思います。</p>
市長	<p>本来、第一子、第二子というのは就園中が原則です。幼稚園や保育園でかかる費用の軽減、そして複数の子どもの育てる上で子育てにお金が一番かかる時期にということで進めている施策ですから。就学後は子ども医療費などで負担軽減をしていますので、今のご要望も可能かどうか検討したいと思います。</p>
参加者	<p>小学校のトイレのことでお聞きしたいことがあります。小学5年生の子どもがいますが、学校のトイレでは息をしたことがないと言っています。私も学校に行ったとき、学校中がトイレの臭いでいっぱいという感じがしました。そのような環境で勉強したり給食を食べたりしていると考えたらとてもかわいそうです。個人的にはエアコン設置よりもトイレ改修が先ではないかと思っています。ほかの小学校もやはりトイレが臭いという話を聞きます。衛生面からも考えていただきたいと思います。</p>

市 長	<p>このまちはこれまでそういうことに目を向けてこなかったといえます。だから、私は就任以来進めてきています。順次計画を立てて実施していますが、大規模改造工事と一緒に実施すれば経費が抑えられます。大規模改造工事がすぐに控えている学校のトイレを改修することは無駄ですから。ですが、可能な限り早期に改善したいとは思っています。エアコンよりトイレが先だというご意見ももつともですが、エアコン設置も決して快適な環境をつくろうということではありませんし、継続的にかかる維持費なども電気とガスで比較したりしながらすすめています。トイレの臭気も構造上の問題ということもありますので、検証をしながらすすめていきます。</p> <p>国や県からの補助金みたいなものでトイレの改修工事などに使えるものがあれば、そういうものも利用してできるだけ早期に実施していきたいと思います。</p>
参加者	<p>これからの未来を担う子供たちの教育に電子黒板など I C Tにも力を入れているとのことですが、秋田県とかは学力テストの水準が高いです。週刊誌で読むと、先生の教育もしっかりしているし、1クラス30人で先生が二人つくなど、具体的に改革をして教育水準を高めていることがわかりました。</p> <p>現状ではお金のある家庭は塾に行ったり、私立の学校に行ったりして教育水準を上げることはできますが、そうではない普通の家庭の子どもへも教育水準を高めるような取り組みをしてほしいと思います。</p>
市 長	<p>私もまさにそう思います。わが市の教育長を始め、教育委員会も指導や助言など力を入れてくれています。</p> <p>私も就任してから、夏休みに「寺子屋」を実施しています。</p>
参加者	<p>参加しました。とてもよかったです。学校にエアコンが設置されるのであれば学校で実施していただきたいと思います。</p>

市 長	<p>私も各学校を利用できればと思ったのですが、警備上の問題ということや学校までの往復で事故にあったりする不安があるなどの理由を挙げられてしまい、残念ながら公共施設を使うことになっています。</p> <p>文京学院大学の学生や元小中学校の校長先生に来てもらって実施していますので、子どもたちも勉強しやすい環境になっています。塾へ行く経済的な余裕がない家庭の子どもたちにも学習する環境を与えてあげたいという気持ちもありましたので、本当は年中行事として実施したいと思ってたのですが。</p>
参加者	<p>寺子屋に行って本当に良かったです。寺子屋に行けば、家と違ってみんなが勉強しているので勉強する気になりますし、塾に行ったことがない子どもは雰囲気を知る場になります。</p>
市 長	<p>そうですね、ありがとうございます。今後はもっと充実していきたいと考えています。</p>
参加者	<p>今日、来られなかった人から頼まれたのですが、学校給食でアレルギーの子どもへの対応はどうなっていますかということと、新しく建設する上福岡学校給食センターはアレルギー対応食を提供すると市報に出ていましたが、旧大井町地域も対応してくれますかという2点です。</p> <p>今現在のアレルギー対応につきましては、各ご家庭で対応していただいています。給食センターでの代替食は用意できていない状況です。</p> <p>新しい給食センターでは、通常の給食は旧上福岡エリア分だけですが、アレルギー対応食は市内全校分を調理します。</p> <p>新しいセンターはP F I方式といって民間事業者が、建設だけでなく、調理も運搬も行います。そうして民間に委ねますが、栄養士の配置は市が行いなので、民間と栄養士で調整会</p>

	<p>議を開きながら、献立は市が責任を持って作成します。逆に衛生管理などは民間のほうが高い技術を持っているので、安心できると思います。これまでのふじみ野市の給食も高いレベルでしたが、さらに高いレベルの給食を提供できると思いますので、今後、大井給食センターが建て替えの際も、やはりPFIですすめたいと思っています。</p>
参加者	<p>待機児童や一時保育などいろいろ親は不安な点があり、認定こども園ができるとそういう不安の解決にもつながると思うのですが、どのあたりまで進んでいますか。</p>
市 長	<p>冒頭でもお話しいたしましたが、子ども・子育て支援法が制定されて、ふじみ野市も子育てにかかわる方々にメンバーになってもらって、子ども・子育て会議をつくりました。国も認定こども園にかかる方針は示しているのですが、平成27年4月を目途にしているとは思われますが、実際に取り組むには時間がかかるだろうという状況です。市内でも認定保育園をやりたいと意思を示しているところはありますが、やはり保育と幼児教育をひとつにするという大きな課題もあり、実施にはまだ時間がかかると思われます。</p>
参加者	<p>家と学校が離れているので、通学路の安全確保をお願いしたいと思います。旧上福岡エリアではゾーン30による交通安全対策が実施されたとのことですが、旧大井地区での実施の予定はありますか。</p>
市 長	<p>ゾーン30は上福岡1丁目、北野、大原といった地区をまず最初に設定しました。スピードの抑制効果があるゾーン30ですが、指定したからといって交通事故が減るわけではありません。</p> <p>次は鶴ヶ舞と桜ヶ丘の周辺を指定する計画になっています</p>

	<p>し、市内の住宅密集地にはゾーン30の規制を順次かけていけるように埼玉県警とも調整をしています。</p> <p>通学路の安全対策ですが、お母さんたちの立哨も昔に比べると子どもの数も減っているので、順番もすぐまわってきて大変だとは思いますが、市でも予算の関係がありますが、交通指導員を最大限配置しています。危険な交差点の横断歩道や信号機などの設置は県にも随時要望していますし、不審者対策として老人会の方々などに登下校の見守りをお願いしています。</p>
参加者	<p>先ほどトイレ改修の話がありましたが、私の子どもも学校のトイレが嫌だといってストレスになっているようです。無意識に我慢するようになってしまって膀胱炎になりかけました。全部の学校のトイレ改修が完了するのは、具体的にどれくらいになりますか。</p>
市長	<p>学校施設の改修は平成36年度までの計画を立てています。トイレに限れば、そんなに遠い話ではありませんが、大規模改造工事との組み合わせもあります。子どもが学校のトイレを使いたくないから我慢しているというのは、これほどつらい話はありません。お子さんは和式だからダメということでしょうか、それとも臭いからですか。</p>
参加者	<p>和式にはなれたのですが、臭いがひどくて。特に女の子はしゃがみますのでよけいつらいようです。</p>
市長	<p>そうですか。お子さんの中には小学校で初めて和式トイレを経験する場合もあって、それが大変だということもあるようなので、なるべく早期に改善していくようにしたいと思います。</p>
司会者	<p>市長面談で市民プールの再開はないとお聞きしましたが、近所の方から県営や近隣の市営プールの利用券を配布していた</p>

<p>市長</p>	<p>だいていますが、その枚数を増やしてもらえるとうれしいと言われました。可能なら検討していただきたいと思います。</p> <p>それから、夏休み中の小学校のプール開放がとてもよかったという感想を聞きました。ことしはぜひ開放箇所とか日数を増やしてほしいという声を聞いています。</p> <p>利用券についてですが、配布の仕組みを考えれば可能かもしれません。市営プールはどこの自治体も廃止の方向です。先ほど館内プールという話がありました。プールに限りませんが、公営で実施して安価な値段で利用できるというのは、それを誰かが負担しているということです。タダでプールは運営できません。人件費や維持費がかかります。そこにはプールを利用しない人の税金もつぎ込むこととなります。ですから、近所に県営の水上公園があれば、皆さんの県税を使って運営されている施設ですから、そこに補助してお子さんのいる家庭に利用してもらおうというのが利用券の事業の意味です。</p> <p>学校のプール開放も東地域と西地域で一つずつ実施しました。上野台小学校と東台小学校です。わが市は安全安心には人一倍配慮していますので、低学年の子どもたちは親の同伴が必要です。ですが、お母さんたちの中には一緒になって水着で小学校のプールに入っていることに抵抗があるという場合もあるでしょう。そのせいか、思ったよりも利用者は少なかったです。</p> <p>今度できる清掃センターには、余熱利用施設ということで高齢者のお風呂だけではなくて、水着着用で歩行浴ができるようになる予定です。高齢者専用の施設ではないので、子どもから利用できる施設です。ぜひ、ご利用いただければと思います。</p> <p>学校のプール開放をやめて、民間事業者に協力してもらって民間のプールを使おうという計画があり、現在調査をしています。ですので、先ほど利用者が少ないという状況では、学校プール開放のエリアを広げるといったこと難しいかなと思います。</p>
-----------	--

結構警備の費用もかかっていますので。

司会者

これで最後の質問とさせていただきます。今日は私たちの声を聴いていただき、ありがとうございました。今後もすべての子どもたち、幼稚園、保育所、障がいのある子ども達への支援を続けていただきたいというのが、私たちの願いです。

今日は市長とお話しできて、皆さんも市政への関心を高められたことと思います。お忙しい中、高畑市長にはお越しいたごきまして、ありがとうございました。

